

オーストラリア横断フットレース パース - メルボルン 2008年10月10日-11月29日

第1条：組織

GSI コミュニケーションはオーストラリア横断フットレース(Trans-Australia Foot Race)を主催する。このイベントは2008年10月10日～11月29日に、パース(Perth)とメルボルン(Melbourne)の間で行う。GSI コミュニケーションは、出発地あるいは到着地を変更し、行政上の問題・気象条件その他の危険など制御不能の事態が生じた場合には、コースを変更する権利を有する。

第2条：レース

オーストラリア横断フットレースは、ステージレースで距離は約3500kmである。個人ランナーと3人のランナーで構成するチームが参加できる。ランナーは部分的にだけレース中の食事に責任をもつ(第9条参照)。レースが開催される時、南半球では春である。

第3条：参加資格

参加者には以下の資格が必要とされる。国籍は問わず、majeure(成年に達した人=18才以上)で、このレースで走る適性を示す健康診断書の提出を含むこの規則の要求に合致する人。健康診断書提出は必須であり、レーススタートの90日前以降に、医師によって作成され、署名されていなければならない。

第4条：レース予定

2008年10月9日：出発前夜、ホテルで説明会を行う。ホテルの名前と住所は後日連絡する。全てのランナーは説明会に参加しなくてはならない。その場で番号の付いたゼッケンを受け取る。

2008年10月10日：コテスロービーチ Cottesloe Beach (パースの西にあるインド洋に面した海岸) をスタートする。

ルート：パースPerth - カルグーリKalgoorlie - ノースマンNorseman - セデューナCeduna -

ポートオーガスタPort Augusta - メルボルンMelbourne

2008年11月29日：レースはメルボルンMelbourneの海岸で終了する。

レース距離は約3500km

期間は休日なしの51日間

1日の平均距離は68km

第5条：ランナーのカテゴリー(部門)

カテゴリー1：個人ランナー

カテゴリー2：3名のランナーによって構成されるチーム

カテゴリー1：

個人ランナーが、男女とも各ステージを完走しなければならない。

毎日夕方、ステージ終了後にステージ順位と総合順位(すでに走ったステージ通算順位)が参加者全員に知らされる。

男子の部と女子の部がある。

それぞれの部門ごとに順位をつける：年代別順位はつけない

カテゴリー2：

3名のランナーによって構成されるチームは、3名の女子、3名の男子あるいは男女混合で構成される。

レース初日と最終日は、チームの3名のランナーがステージを完走しなくてはならない。チームの3人目で最終のランナーがフィニッシュラインを通過した時の記録が、そのチームの公式記録と見なされる。もし3人のうち一人でも初日と最終日のステージで完走できなかった場合、そのチームは失格となり、順位は付けられない。

初日と最終日を除くステージでは、チームのうち一人のランナーだけがその日のステージ全コースを走らなくてはならない。その日のランナーはステージの途中で他のチームメイトと交代してはいけない。

チームはランナーの走る順番を任意に決めることができ、例えばあるランナーが2日続けて走っても良い。

毎日夕方には、ステージ終了後に、ステージ順位と総合順位(すでに走ったステージの通算順位)が全てのチームに知らされる。

チーム順位は1種類だけで、チーム構成(女子/男子/男女混合あるいは年齢)に関わらずに付けられる。

カテゴリー1とカテゴリー2：

毎朝、レース開始前に、個人ランナーとそのステージで走ることになっているチームメンバーは、レースシートに署名しなければならない。

制限時間：平均時速5.5kmで設定され、ステージの走行距離(km)を平均時速で割った時間とする。
例えば、ある日のステージ距離が55kmの場合、スタートからフィニッシュまでの制限時間は10時間となる。
もし、カテゴリー1のランナーが10時間を超えた場合、彼/彼女は失格となり、レースから離脱させられる。
彼/彼女は(次の日以降も)レースで走り続けても良いが、順位は付けられない。
もし、カテゴリー2のランナーが10時間を超えた場合、彼/彼女のチームは失格となり、レースから離脱させられる。
彼/彼女のチームは(次の日以降も)レースで走り続けて良いが、順位は付けられない。

第6条：身分証明札：ゼッケンとスポンサー

ゼッケン：

GSI コミュニケーションは5枚の個人毎のゼッケンをレース全期間用に各ランナーに提供する。
ゼッケンは、レース中には常に胸の位置に着用し、全体がよく見えるように身につけていなければならない。もし、これを守らなければ罰則が与えられる(第13条参照)。
毎朝、レース開始前に、個人部門とチーム部門で総合1位のランナーは、他のランナーとは異なるゼッケンを受け取り、各部門の1位であることが容易に分かるようにする。
独自のスポンサー：ゼッケンを付ける胸の位置以外に関しては、ランナーは他のスポンサーのブランド名入りのTシャツ、ショート、帽子、ウォーターバッグを身につけて良い。

第7条：運営一般

GSI コミュニケーションは全てのランナーの荷物運搬に責任をもつ。個人的な支援車あるいは随行者は必要としない。
各ステージ終了後の宿泊は、10%はモートルまたはキャラバンパークで、90%はキャンプとなる。
主催者は[キャンプの場合]、以下のものを毎晩準備する。

- 夕食と朝食のための大きなテント(テーブルと背もたれなしの椅子付き)
- 2つのシャワー用テント(板敷き付き)：一人一人で利用できるようにするため。主催者はお湯の供給を保証できない。
- キャンプでは毎日、複数の袋が支給され、ランナーは排泄物を処理する。これらの袋は使用後に主催者が掘った穴の中に埋める。

主催者は朝食と基本的な夕食、ランナーがキャンプに到着した時の軽いスナックを用意する。“基本的”が意味するのは、メニューが変化しないからであり、それは半砂漠条件下では、提供する物を入手するために定期的買い物が難しいからである。

第8条：キャンプでの運営

夕方、ランナーは指定場所にある自分のバッグとテントを入手する。
各ランナーのバッグとテントはゼッケンと同じ番号でラベルされる。
毎日夕方、夕食前には10分間の説明会が行われ、これには全てのランナーと主催者チームの2名が参加する。
この説明会で翌日のステージ出発時刻が知らされる。スタートは日の出時刻であり、異なる時差の地域に入ると変化する。
[訳者注：日本との時差は、パースでは-1時間、セデューナで+30分、メルボルンで+1時間]
朝、それぞれのランナーは、きちんと閉めたバッグと折りたたんだテントを指定場所に置く。
それぞれのランナーは、自分の持ち物に責任を持ち、テントを設営する場所を選択する。
全てのランナーはスタート時刻の10分前にスタート地点に集まり、レースシートに署名する。
朝、もしレースシートに署名しなかった場合には、個人ランナーは失格となり、チームの場合は誤ったランナーが(その日走るランナー以外が)署名した時は失格となる。

第9条：レース運営

スタートとフィニッシュラインには時計付きのアーチが設置される。
ランナーはその日のスタートからフィニッシュまでの全行程の食糧に責任をもち、その日に必要となる食糧を自分で運ぶ。
主催者は水と糖質を含む飲み物を10km毎の供給地点で提供する。この距離は厳しい条件下に見合うように、5km毎に変更されるかもしれない。もし外気温が高い場合には、日中に提供される飲み物は熱くなっているかもしれない。
キャンプに到着すると、レストランで軽い食事(食べ物と飲み物)をとることができる。
毎朝、スタート前に車でコース点検を行う。
レースの後にはスーパーとして車が付く。
日中は車で行き来して、全てが良い状態であり、レース規則が尊重されていることを確認する。
これらの車に乗っている人は、ランナーに罰則を与える権限を持つ。
全ての車には電話を装備するので、お互いに連絡を取ることができ、緊急時に対応する。

第10条：キャンプでの水の供給

朝、朝食時にランナーは各自のボトルやバッグに給水しなければならない。主催者は給水用に水で満たしたジェーリーカン[大きなブック型のボトル]を準備する。

レース中、給水地点で主催者は給水を担当しない[各ランナーが自分で給水する]。

各ステージの最後に、使わなかったボトルやバッグの水は捨てず、主催者が回収し再利用するか、ランナーが洗濯に使う。キャンプでのシャワー：シャワー用の水は配給される。各ランナーはそれぞれの番号を付けられた缶を渡される。ランナーのキャンプ到着後、スナック時間に、この缶は主催者によって水が入れられ、ランナーのために準備される。この缶の中の水は外気温になっている。

第11条：必須事項

- キャンプ用テント1張り
- 寝袋1個
- バックパック1個：給水用ボトルまたはバッグ付きで、最低でも1.5リットルの水[とその日の食糧]が入る容量のもの
- 参加者一人につき20kg以内の重量の荷物1個[この荷物は運搬してもらえる]
- ヘッドランプ1個
- ランナーは全ての交通ルールを守る(車に対向して走る)。
- 本国送還保険(repatriation insurance)：ランナーが最終的な[残額の]支払いを行うとき、保険証書を発行する保険会社の名前、契約番号、電話番号を連絡しなければならない。
- 健康診断書：全てのランナーは健康診断書を提出しなければならない。健康診断書は出発日(10月10日)の90日前以降に医師によって作成され、署名されていないといけない。この診断書はランナーが半砂漠の気象条件下で、毎日長距離を走る能力があることを示している必要がある。
- 参加申込書はそれぞれの個人ランナーとチームの全てのメンバーによって記入され、署名されていないといけない。
- 注意：新鮮なあるいは乾燥した果物のオーストラリアへの持ち込みは禁止されている。これらのものは、地方のスーパーマーケットで入手できる。

[参考：オーストラリア検疫検査局 <http://www.australia.or.jp/seifu/aqis/index.html>]

]

第12条：レースからの撤退

レースが始まってから3日以内に撤退あるいは失格になった場合には、個人ランナーあるいはチームはレースに残ることはできず、自らが希望する都市に戻る手配をしなければいけない。主催者はレース条件が許さない場合、最寄りの都市に彼らを送り届けることに責任を持ってない。

レース4日目以降、撤退あるいは失格したランナーまたはチームは、もし望む場合には以下のことができる。

- 1- レース終了まで帯同。ただし、レースの良好な運営を妨げないという同意が必要であり、もし妨害行為があった場合には、主催者はレースから去るように要請できる。
- 2- ゼッケンを付けず、レース中のランナーやチームを妨害あるいは支援せず走るあるいは一人で走る。公式レースから離脱したランナーの名前は、ステージ順位と総合順位から除かれる。

第13条：罰則と失格

もし個人ランナーあるいはチームのメンバーが、レース規則とオーストラリアの環境などに関する規則を遵守しないとき、あるいは主催組織またはレース運営を妨害するような行為を行ったときは、そのランナーは警告を受け、“時間”の罰則を科せられてステージ記録に加算され、結果的に失格となる場合もある。罰則一覧表は出発前に全てのランナーに渡される。処罰に責任を持つ委員会は以下の3人によって構成される。

- 主催組織チームの2名
- ランナーの代表またはその代理人1名：代表はレース開始前に全てのランナーによって選ばれる。

一般規則として、ランナー代表はレース中において全てのランナーの代弁者となり、主催者に要求、説明、苦情などを告げることの出来る唯一の人物となる。

第14条：ロードブック

2008年8月15日以前に参加費の全額が支払われた場合、主催者はフランス語と英語のロードブック[コース案内]をeメールで送信する。ロードブックには、コースの詳細が記され、それぞれのステージの距離(km)、難しい所などが示される。各ランナーはレース中には毎日のレースシートを携えていなくてはならない。

第15条：保険

全てのランナーは本国送還保険証書(repatriation insurance policy)を入手していなければならない、保険会社がオーストラリア地域で保険を適用することを確かめておく必要がある。

オーストラリア横断フットレースに参加する全てのランナーは、このレースに危険が伴っていることを知っておく必要がある。ランナーは自己責任でレースに参加し、主催者はランナーの健康上の問題や事故に関しては責任を負わない。

第16条：参加登録費

参加登録費 [1ユーロ=160円で換算]	個人ランナー			チーム		
	合計	前金	残金*	合計	前金	残金*
予約 2008年5月31日まで	3 950 € [¥550,400]	395 € [¥55,040]	3 555 € [¥495,360]	12 600 € [¥2 016 000]	1 260€ [¥201 600]	11 340 € [¥1 814 400]
予約 2008年6月1日以降	4 300 € [¥576,000]	430 € [¥57,600]	3 870 € [¥518,400]	13 500 € [¥2 160 000]	1 350€ [¥216 000]	12 150 € [¥1 944 000]

*残金は2008年8月15日までに支払うこと

チームランナーの一人あたりの参加費(早期申込みによる値引き前)は4500€である。この金額は個人ランナーの参加費(4300€)よりも高い。その理由は主催者が各ステージで走らない二人のチームメイトを輸送するために追加経費を必要とするからである。

参加登録費の全額が2008年8月15日までに支払われなかった場合、主催者はランナーまたはチームの自発的な意志によってキャンセルしたと見なし、以下のように部分的な返済を行う。

カテゴリ-1：すでに支払った金額から運営費として100ユーロ[フランス語ではウーロ]を差し引いた金額

カテゴリ-2：すでに支払った金額から運営費として300ユーロを差し引いた金額

参加登録費全額を支払ったランナーがレースに参加できなくなった場合、以下の条件で交代ランナーを送ることができる。

1 - 8月15日までに参加登録費の全額が支払われていること

2 - 交代ランナーが、完全に記入・署名された健康診断書、完全に記入・署名された参加申込書(entry form)、正確に記された情報書式(information form)、本国送還保険(repatriation insurance)に関する全ての情報を

GSI Communication - BP14 - 76110 BREAUDE, FRANCE に郵送するか

sergegirard@wanadoo.fr にeメールで文書を添付して送信するか

02 35 29 15 69 にファックスで送信すること

[訳者注：フランスへの国際電話のかけ方]

国際電話会社の番号 1 + 010(国際電話識別番号) 2 + 33(フランスの国番号) + 市外局番の最初の0を除いた相手先番号

国際電話会社の番号：001 (KDDI) 1、0033 (NTTコミュニケーションズ) 1、0041 (ソフトバンクテレコム) 1、

005345 (au携帯) 2、009130 (NTTドコモ携帯) 2、0046 (ソフトバンク携帯) 3

1 「マイライン」の国際区分に登録している場合は不要。詳細はURL www.mylines.org

2 NTTドコモは事前登録が必要。auは、010は不要。

3 ソフトバンク携帯は、事前登録が必要。0046をダイヤルしなくてもかけられる。

第17条：登録条件

ランナーとしての受け入れは、参加申込書(entry form)と預かり金(deposit [参加登録費の10%])を受け取った順番に行われる。その他の選択基準はない。

もし2008年8月15日に全体で29名以下のランナー(例えば、14名の個人ランナーと3名のランナーによる5チーム)しか参加登録していなかった場合、2008年8月16日にレースは中止となる。

参加登録状況はウェブサイトで公表される。

オーストラリア横断フットレースの参加登録費支払いはウェブサイトwww.sergegirard.comを利用し、以下の方法で行う。

- 確実なクレジットカード

- リブ(RIB, Relevé d'Identité Bancaire: 銀行口座証明)を利用した銀行振替

第18条：登録確認

参加登録は以下の場合に有効と認められる：

1 - ランナーが参加登録費の10%を預かり金として支払った場合

2 - 記入し、署名した参加申込書(entry form)がGSI コミュニケーションによって受理された場合

3 - 記入し、署名した情報書式(information form)がGSI コミュニケーションによって受理された場合

必要事項を記入し署名された文書の送り先は以下の通り

- 郵送の場合は GSI Communication - BP 14 - 76110 BREAUDE, FRANCE

- eメールの場合は文書をスキャンして添付し、sergegirard@wanadoo.fr

- ファックスの場合は 国際電話会社の番号 010(国際電話識別番号) 33 2 35 29 15 69

GSI コミュニケーションは、レースへの参加申込書と支払いを受け取ったことをeメールで確認する。

以下の条件を満たした場合、参加登録は最終的なものとして確定する。

2008年8月15日までに

- 1 - 参加登録費の残額(90%)の支払い
- 2 - 記入し、署名された健康診断書を主催者に提出
- 3 - 保険会社の名前・住所・電話番号を主催者に提出

2008年8月16日:

GSI コミュニケーションは登録したランナーの数を確認する。

- もし参加登録者が30名以上の場合、レースを開催する。
- もし参加登録者が30名未満の場合、レースは中止する。

中止の場合、全てのランナーはすでに支払っていた参加登録費の全額を返済される。

参加登録費からは全く差し引かれない。

第19条：キャンセルと返済

- 参加登録のキャンセル：参加登録費の10%を預かり金として支払った後、参加する決心を変えた場合あるいは8月15日までに残金を支払って参加登録することができなかった場合は、預かり金から100ユーロを差し引いて返金される。
- もしランナーが参加登録費を全額支払った後に自発的にキャンセルした場合には、
2008年8月15日より前であれば、100ユーロを差し引いて返金され、
2008年8月15日以後であれば、800ユーロを差し引いて返金される。
上記の2つのいずれの場合でも、ランナーはGSI コミュニケーションに支払った参加登録費を自分に支払ってくれる交代ランナーを見つけることができる。その場合は、GSI は最初のランナーに対して返金しない。
- GSI コミュニケーションによって行われるキャンセル：もしGSI コミュニケーションがレースを中止した場合、参加登録費の全額が返金される。
- どのような場合でも、GSI コミュニケーションに支払った金額以上のものを賠償請求することはできない。

第20条：参加登録費によって各ランナーに提供されること

- キャンプでの朝食と夕食
 - 水の供給
 - 各ステージ終了時のキャンプでの午後の軽い食事(スナック)
 - レース開始前夜のホテル客室*
 - レース終了日のホテル客室*
 - レース期間中のホテル客室*
 - レース期間中の各ランナーの荷物 1 個[重さ20kg以内]の運搬
 - チームメンバーで走らない2名の輸送
 - 毎日夕方に渡される個人ランナーとチームの順位記録
 - レース終了を祝い、表彰するために開催する夕食会での食前酒(アペリチフ)と食事
 - レース完走者に対するトロフィーとレースのTシャツ
- *ホテルの部屋はダブルまたはトリプルになる。

第21条：参加登録費には含まれないこと

航空券

空港とホテルの移動に必要な運賃

電子ビザ(electronic visas)

個人消費

出発前夜の夕食

ステージ中の固形食糧：レース期間中、可能な場合、主催者はランナーの食糧を買い物する。代金はランナーが支払う。
コインランドリーで行う洗濯：主催者は[個人ランナーのために]洗濯を代行する。洗濯代はランナーが支払い、洗濯物は洗濯袋に入れて閉じ、主催者は洗濯袋を開けずに洗濯し乾燥する。チームランナーは自分とチームメイトの洗濯に責任を持ち、自分が走らない日に洗濯する。

レース中のアルコール飲料：例外はレース終了後の授賞式を兼ねた夕食時の食前酒

第22条：通信

ランナーのスポンサー探し：プレスリリースがランナーに提供され、スポンサー探しを助ける。

オーストラリア国内：地方の報道機関がレースの進行と共に連絡をとってくると予想される。

世界中の報道機関との接触：レースのウェブサイトはGSI コミュニケーションによって毎日更新される。

第23条：肖像権

GSI コミュニケーションはオーストラリア横断フットレースで撮影した全ての写真を使用する権利を有する。レース参加者は GSI コミュニケーションが参加者の写真や氏名を個人的あるいは商業的に使用する権利を認めなければならない。

この文章は、セルジュ・ジラルルのホームページに掲載されている

Trans-Australia Foot Race の規則

http://www.sergegirard.com/files/australia_foot_race_reglement_fr.pdf (仏語)と

http://www.sergegirard.com/files/australia_foot_race_reglement_en.pdf (英語)に

2008年2月4日時点で掲載されているものを日本語に翻訳したものです。

不備な点あるいは不明な点がありましたら、お問い合わせ願います。

なお、ホームページ掲載内容の変更に気が付いた場合は

適宜、改訂していく予定です。

越田 信

koshita@syd.odn.ne.jp

467-0874 名古屋市瑞穂区太田町2 - 5 - 4